

【B5】PHPテクニカルセッション



DEVELOPER CAMP

Inside VCL for PHP / Delphi for PHPでPHPビジュアル開発

アナハイムテクノロジー株式会社・代表取締役
はやし つとむ

- Delphi for PHP ってなんだ？
- Inside VCL for PHP / VCL4PHPをいじり倒す
- Component指向でGo!

Delphi for PHP ってなんだ？

- Delphi for PHPが最初に発表され時に

えっ、Delphiで書くとPHPにコンパイルされるの？

そいつはすげ〜〜〜

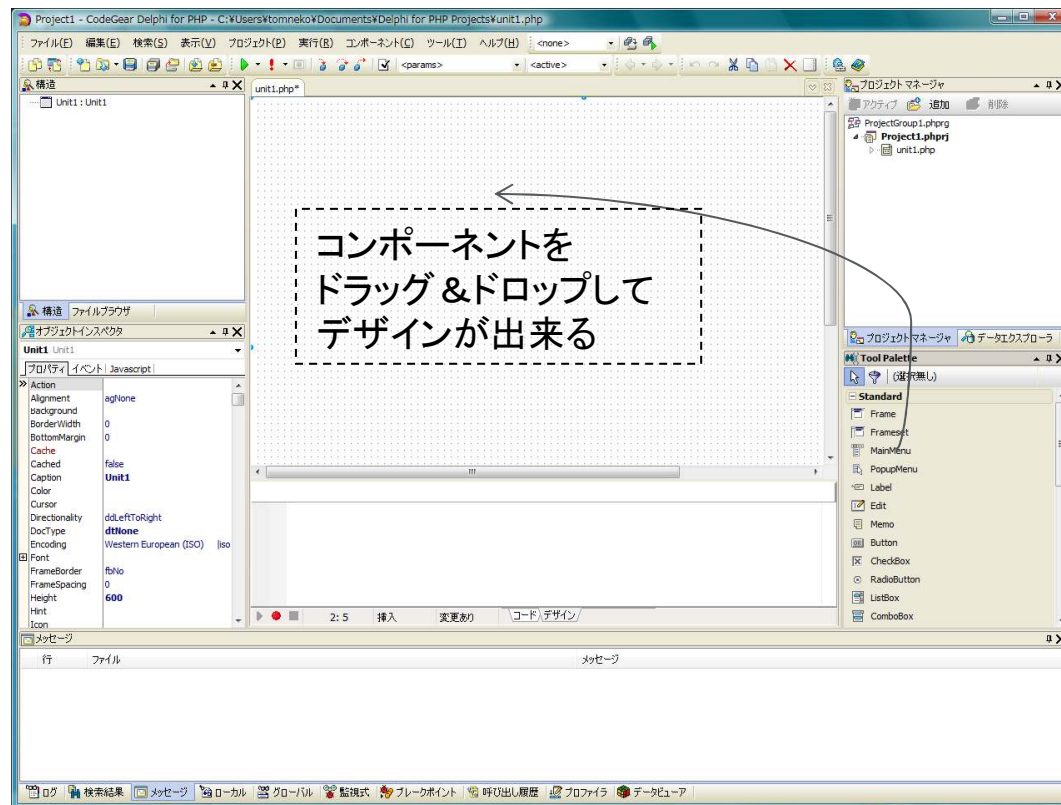


さすがにそうじゃなかったけど

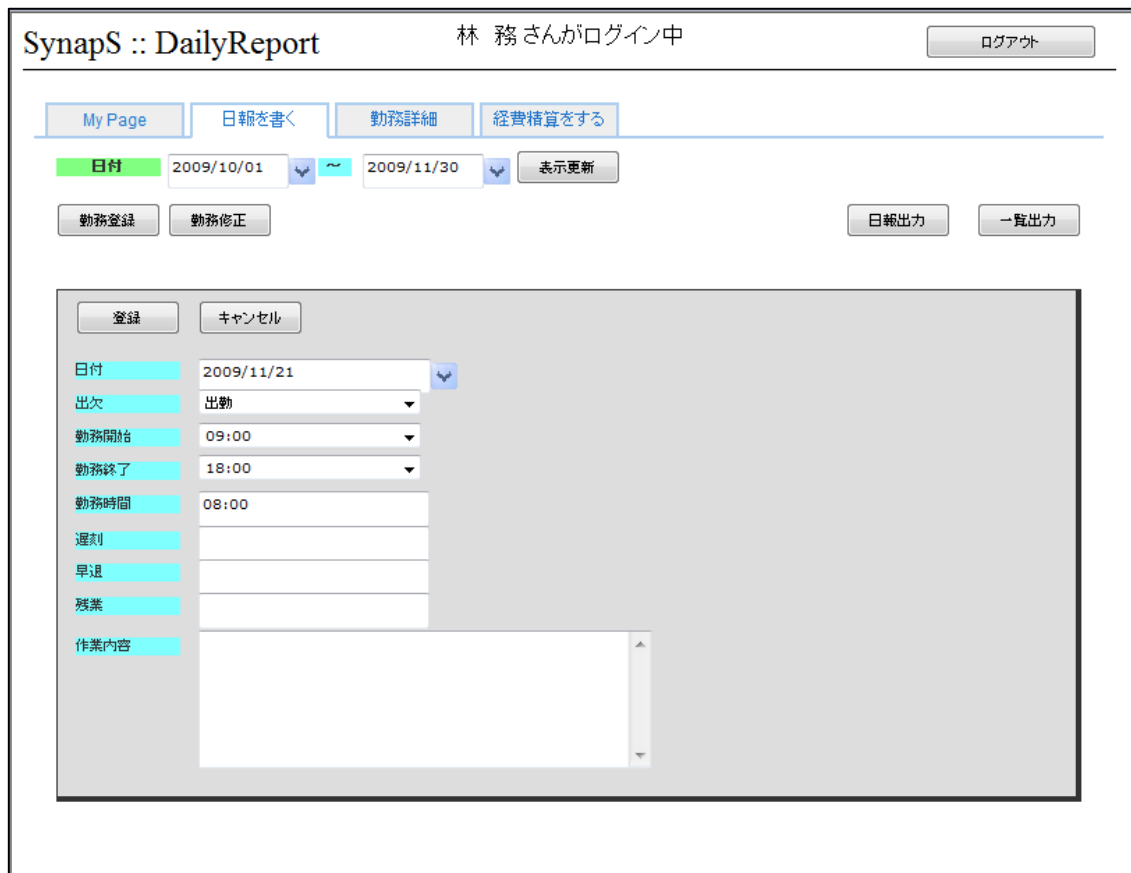
- Delphi IDEでビジュアル開発
- Delphi同様のVCL for PHP

Delphi for PHPってなんだ

- PHPでもRubyでもPythonでも、LL言語と言われているものにはビジュアル開発の出来る開発環境がない。
- Delphi for PHPが唯一のソリューション。



- これまでC/Sで利用してきた業務系アプリをWebにポーティングしなくてはならない場合などに最適。



SynapS :: DailyReport 林 務さんがログイン中 ログアウト

My Page 日報を書く 勤務詳細 経費精算をする

日付 2009/10/01 ~ 2009/11/30 表示更新

勤務登録 勤務修正 日報出力 一覧出力

登録 キャンセル

日付 2009/11/21

出欠 出勤

勤務開始 09:00

勤務終了 18:00

勤務時間 08:00

遅刻

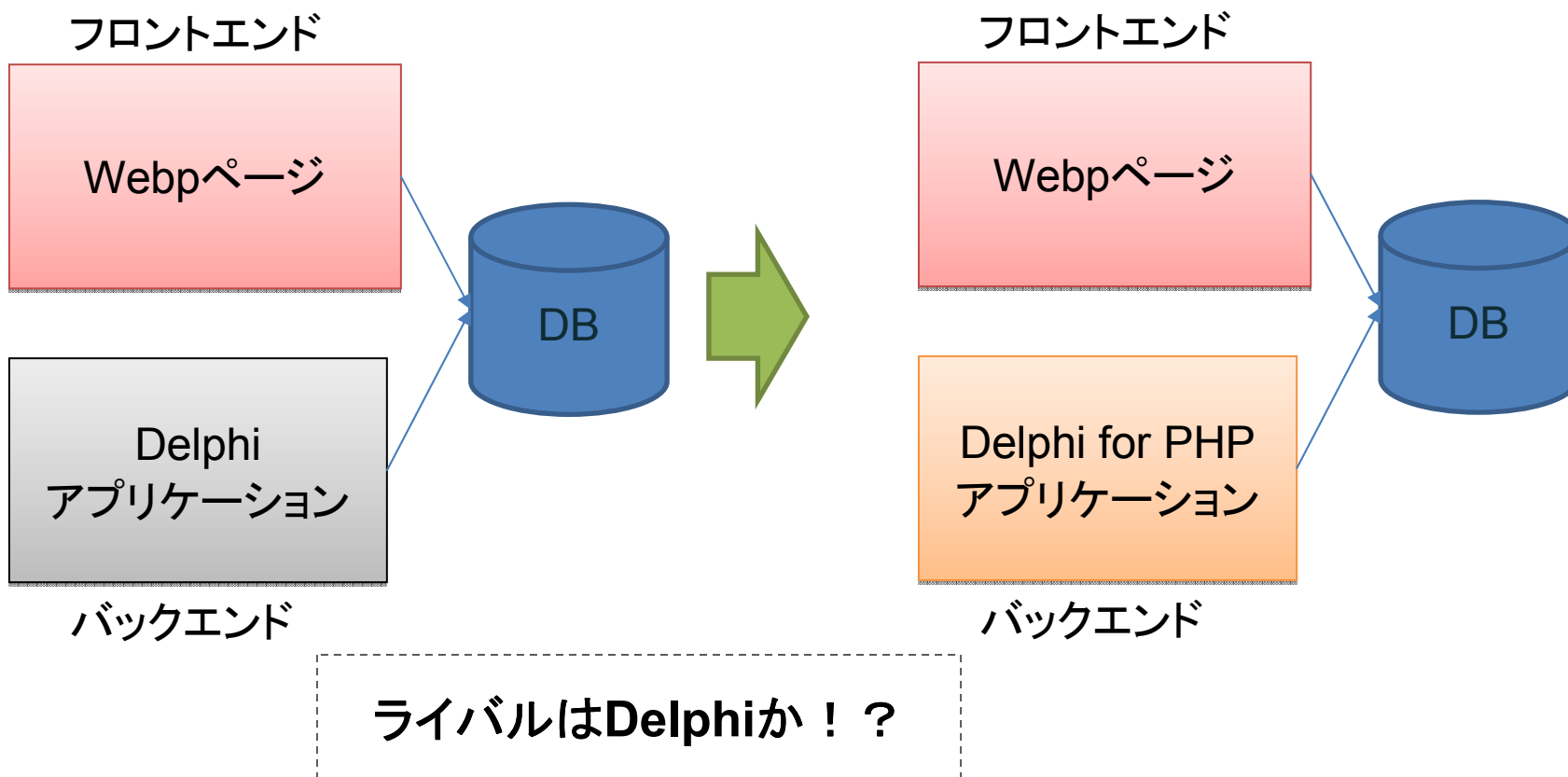
早退

残業

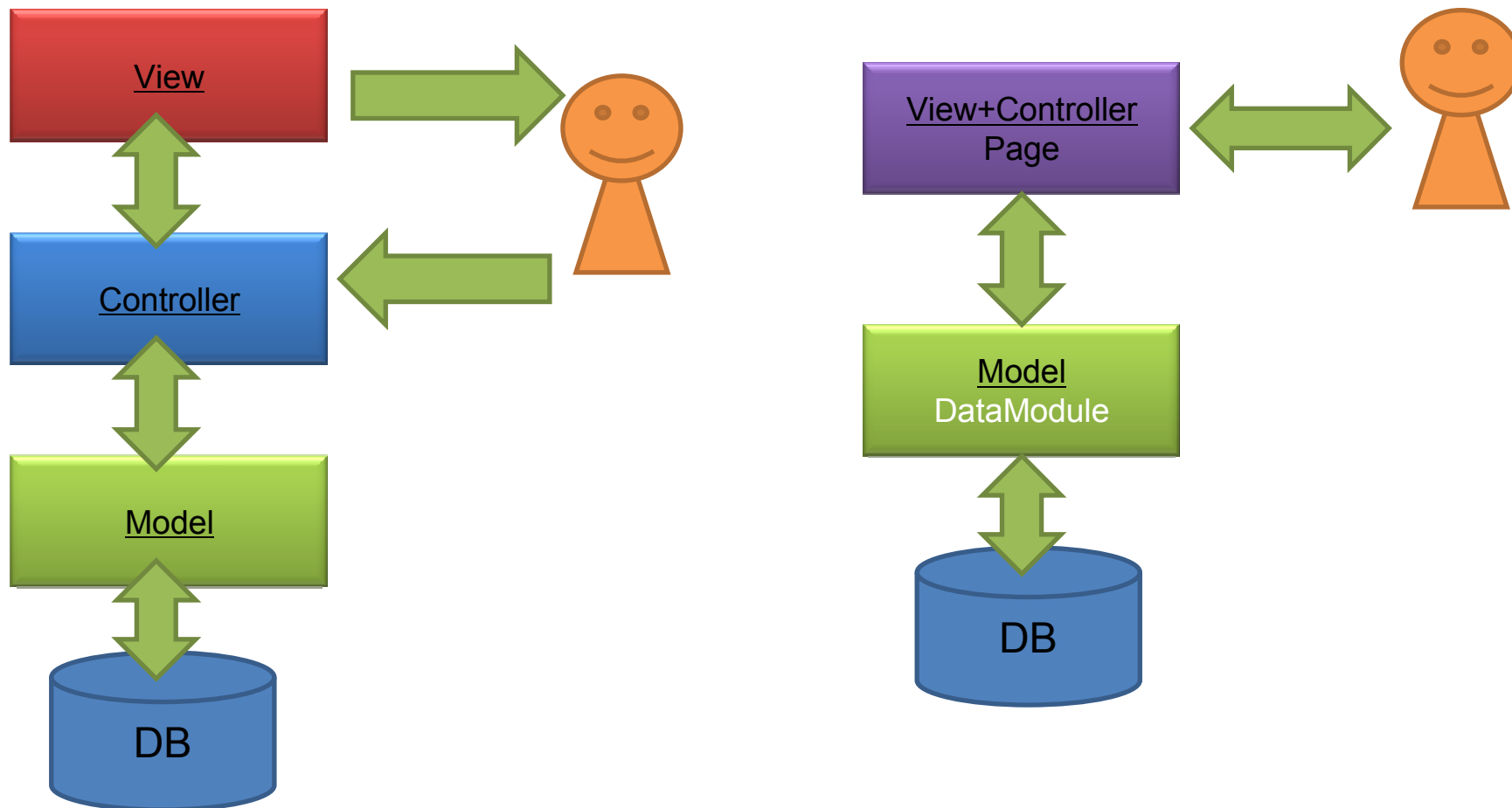
作業内容

アナハイムで開発
中の労務管理＋
プロジェクト管理シ
ステムの画面

- Webのバックエンドで使われている業務系システムなどを作るのにも向いている。



- MVC(Model View Controler)でDelphi for PHPを考えると。

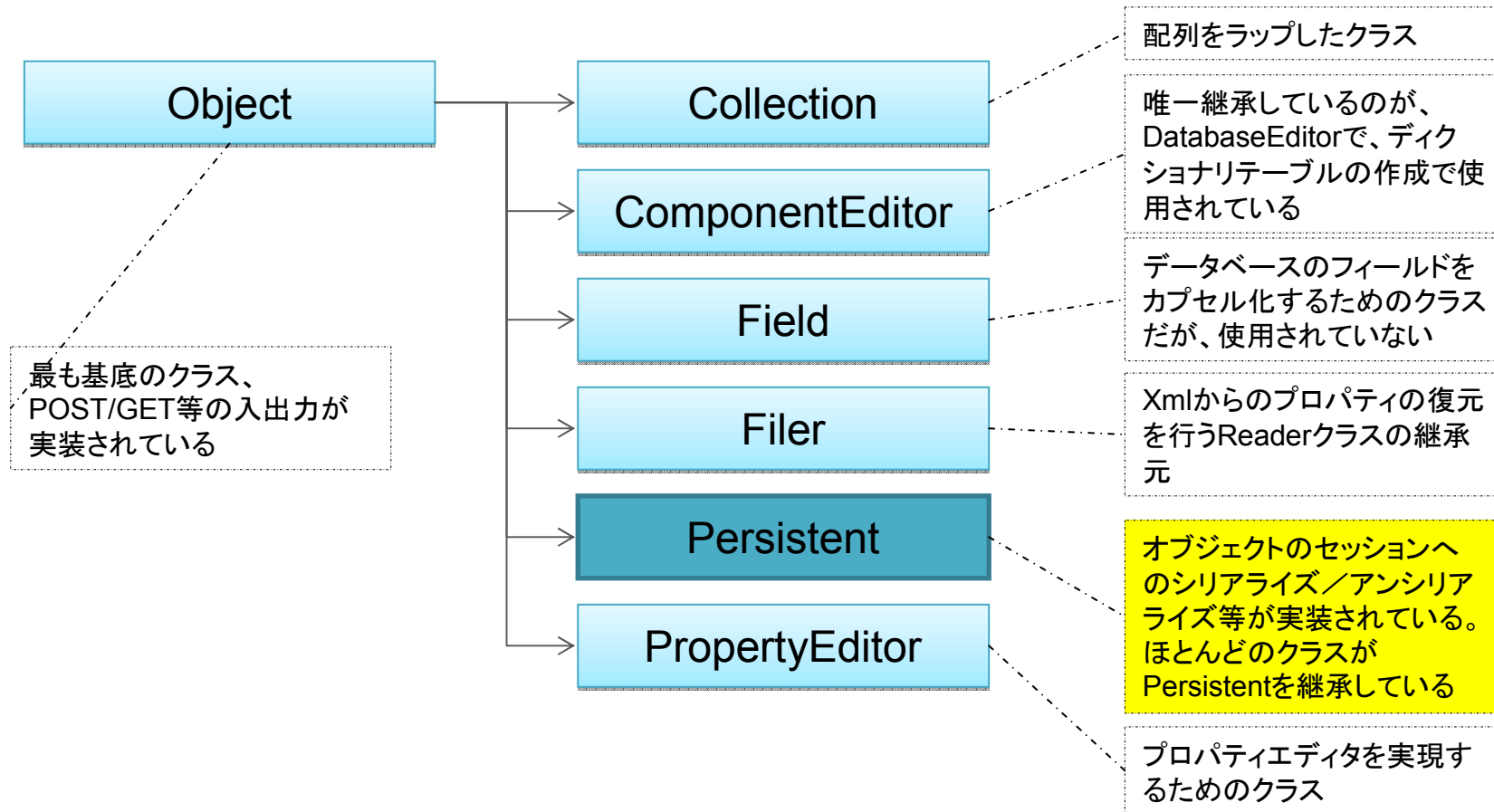


- Delphi for PHPは、サーバーサイドAjaxライブラリのxajaxをVCL for PHPに統合しています。そのため、PHPコードとJavaScriptコードの分散が防げます。
- Xajaxのバージョンは、0.2.5 (stable release)ですが、このバージョンでは非同期呼び出しのみサポートしています。同期呼び出しは最新版の0.5でサポートされているので、対応したいところです。
- <http://www.xajaxproject.org/en/home/>

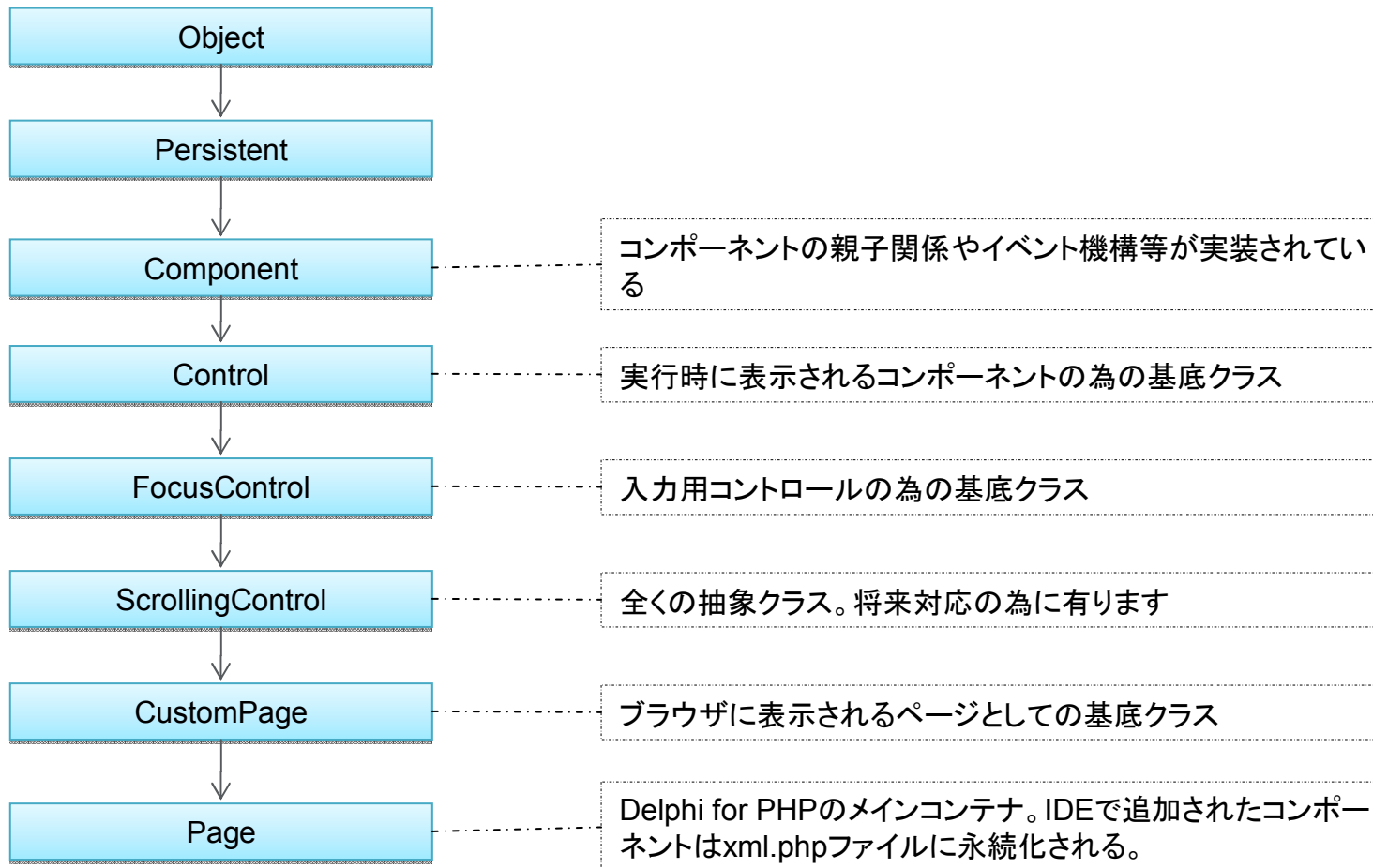


Inside VCL for PHP / VCL4PHPをいじり倒す

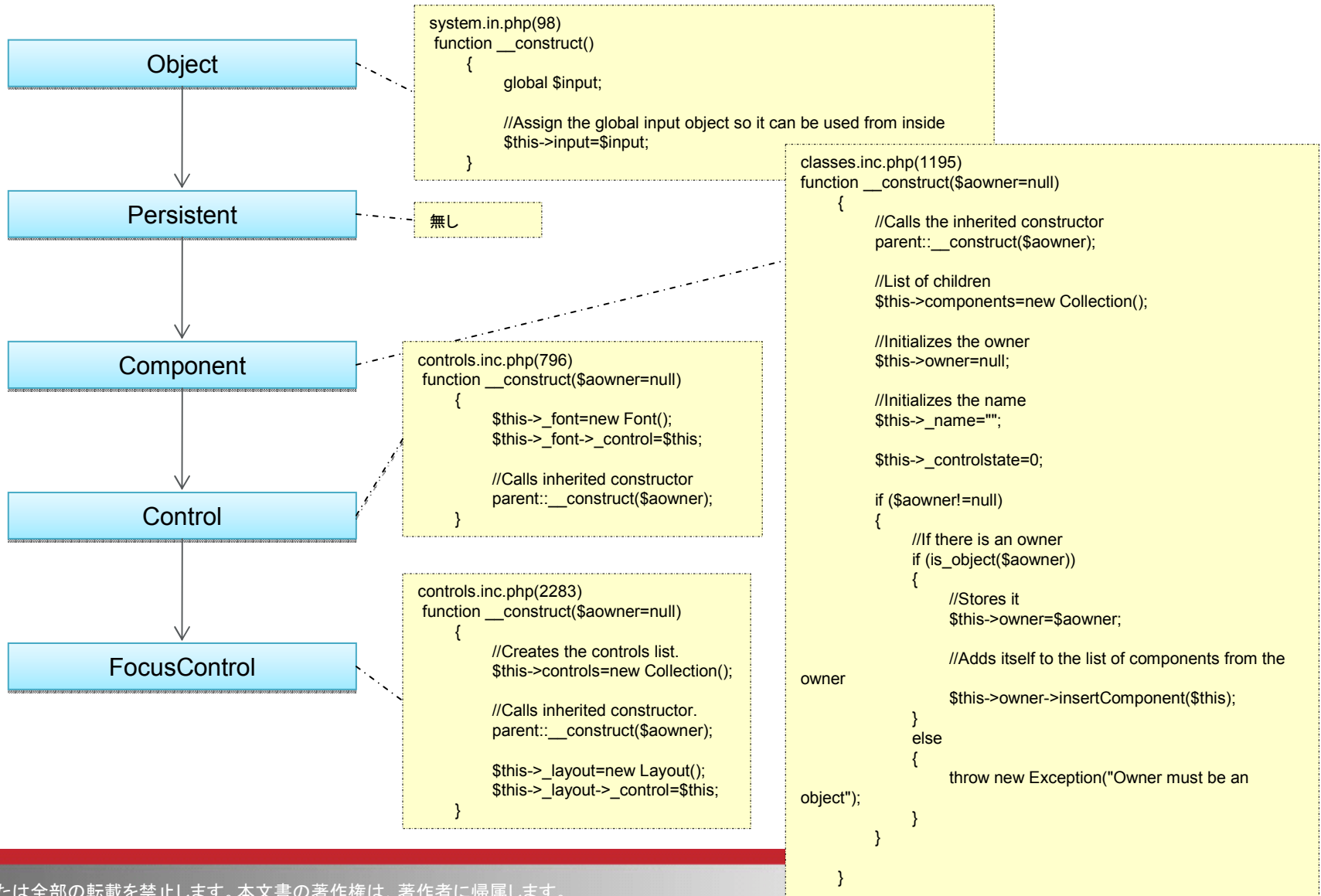
- Delphi for PHPを極めるには、VCL for PHPを極めるべし



- フォームとして表示されるPageコンポーネントまでの継承関係



FocusControlからObjectまでのコンストラクタ



- ページが表示される際には、オブジェクトの階層を辿ってコンストラクタが呼ばれた後で、loadResource(__FILE__)でリソースの読み込み、PageのShow()メソッド呼び出しが行われます。

```
<?php
require_once("vcl/vcl.inc.php");
//Includes
use_unit("forms.inc.php");
use_unit("extctrls.inc.php");
use_unit("stdctrls.inc.php");

//Class definition
class Unit1 extends Page
{
    public $Button1 = null;
    public $Label1 = null;
    function Button1Click($sender, $params)
    {

    }

}
```

(右へ続く)

```
global $application;

global $Unit1;

//Creates the form
$Unit1=new Unit1($application);

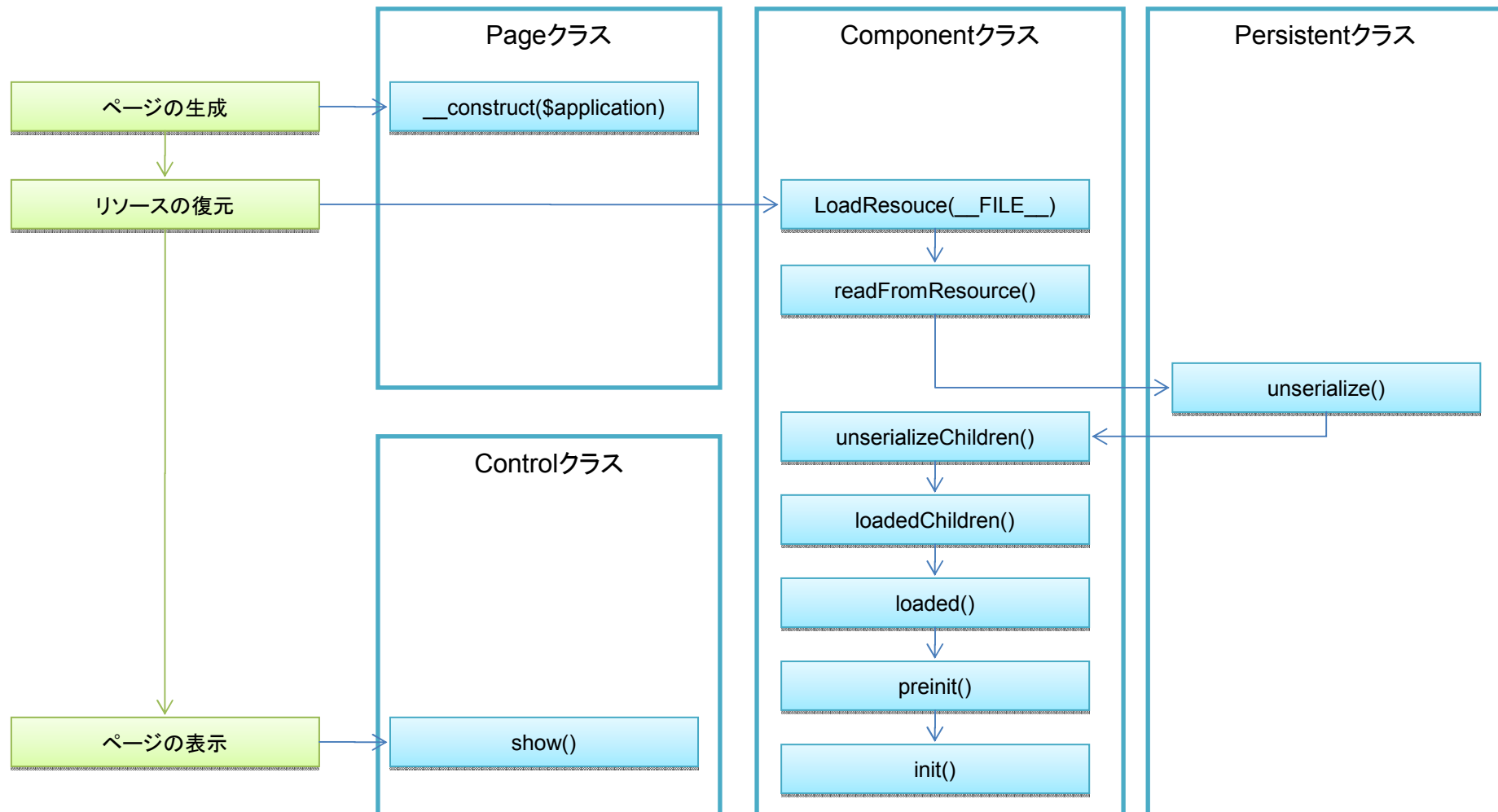
//Read from resource file
$Unit1->loadResource(__FILE__);

//Shows the form
$Unit1->show();

?>
```

※フォームにボタンを1個とラベルを1個置いた状態のスケルトン

ページが表示される流れ



※実際にはPageからObjectまでの間の全てのコンストラクタが呼ばれています

- Delphi for PHPの「編集」メニューから、二つのプロパティが追加出来る。
 - Publicプロパティの追加
 - Publishedプロパティの追加
 - PublicプロパティをPublishする

```
<Publicプロパティのスケルトン>
protected $_test=null;

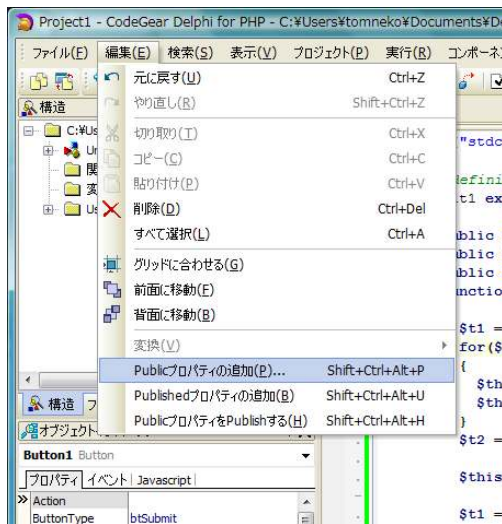
function readtest() { return $this->_test; }
function writetest($value) { $this->_test=$value; }
function defaulttest() { return null; }
```

```
<Publishedプロパティのスケルトン>
protected $_test=null;

function gettest() { return $this->_test; }
function settetest($value) { $this->_test=$value; }
function defaulttest() { return null; }
```

Defaultメソッドは、シリアライズで利用される

※このスケルトンの中には、プロパティ名がありません！



- VCL for PHP では、DelphiのVCLと同様に各クラスのプロパティに対して、set/get出来るようになっています。
- これは、PHPの特殊メソッド `__get()` と `__set()` を利用することで実現しています。このメカニズムはObjectクラスで実装されています。
- `get + hogehoge / set + hogehoge` がPublishedプロパティで、これはシリアライズ + アンシリアライズされる。
- `read + hogehoge / write + hogehogte` はPublicプロパティで、これはシリアライズされない。

- PersistentクラスのSerialize()で実装されている。
 - PHP5で実装されたリフレクションクラスの機能を使ってset付のメソッドの存在をチェックしています。
 - プロパティがコンポーネントの場合は、最後に SerializeChildren メソッドで一括してシリアライズするので、ここではオーナー名+コンポーネント名を値として保存するように変換しています。
 - デフォルト値と現在の値を比較して同じであればシリアライズをスキップします。セッションへの負荷を減らす工夫。
 - 最後に、子のコンポーネントに対して全てシリアライズする指令を発して終わります。

- オブジェクトの永続化は、PersistentオブジェクトのSerialize / UnSerialize メソッドを利用して実現しています。SerializeはPHPのファイナライザであるshutdown_functionで実行されています。

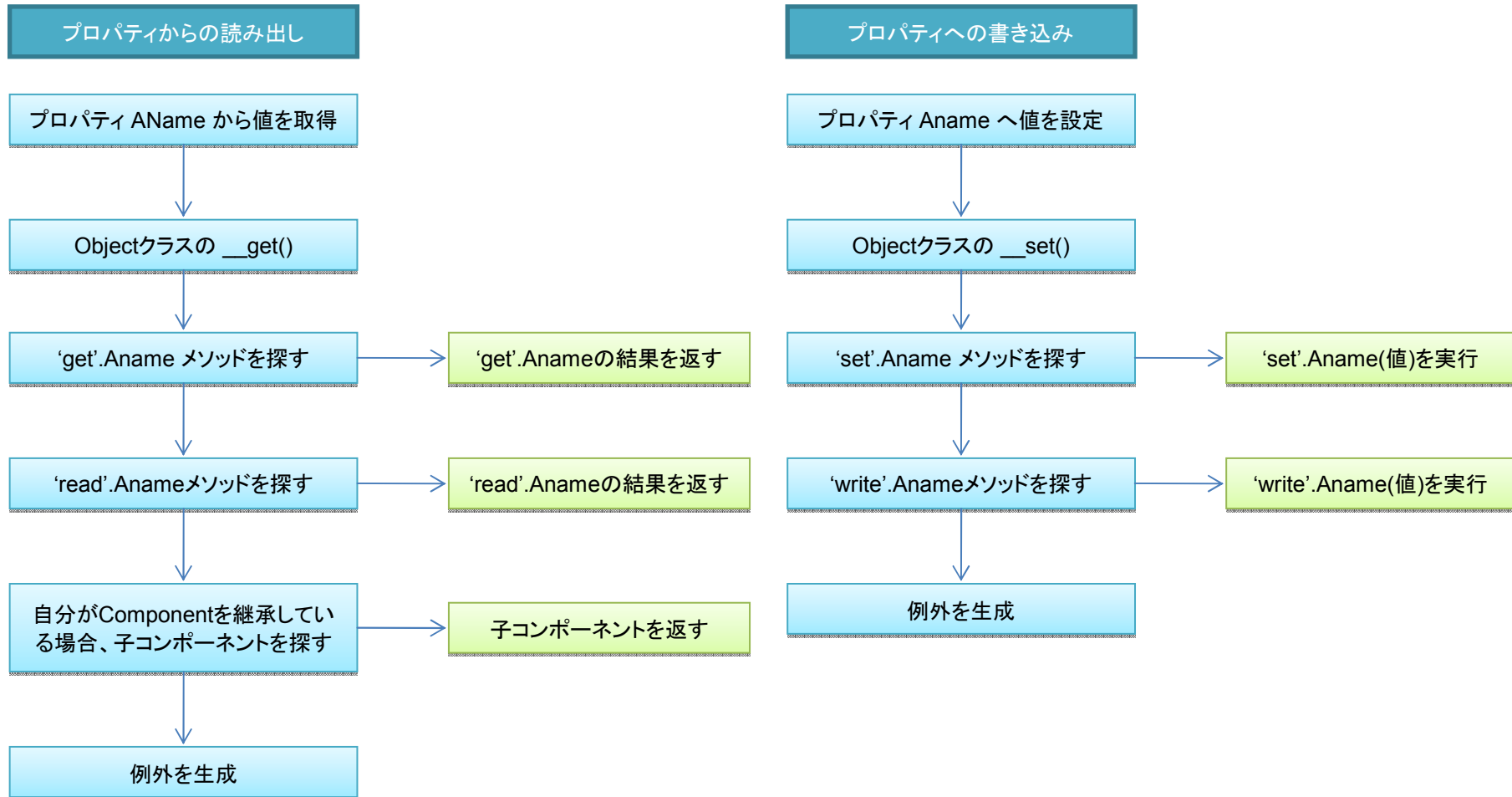
```
forms.inc.php(58)
function VCLShutdown()
{
    global $application;

    //This is the moment to store all properties in the session to retrieve them later
    $application->serializeChildren();

    //Uncomment this to get what is stored on the session at the last step of your scripts
    /*
    echo "<pre>";
    print_r($_SESSION);
    echo "<pre>";
    */
}

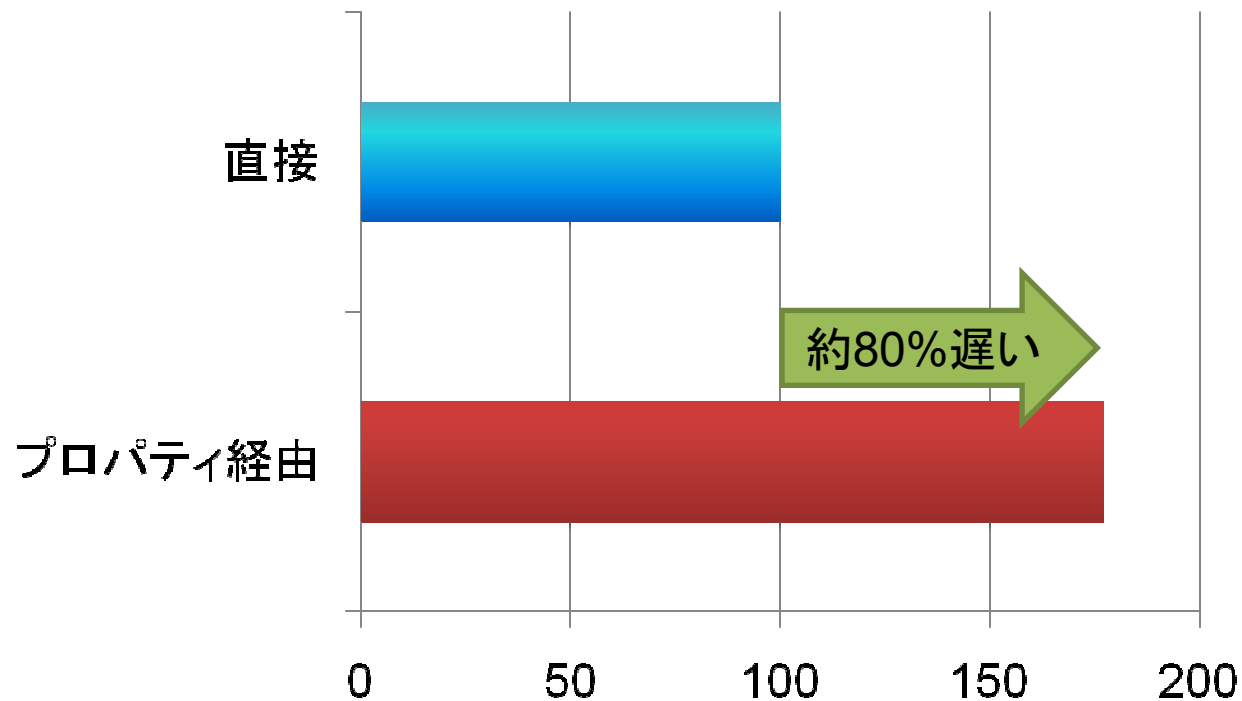
register_shutdown_function("VCLShutdown");
```

プロパティの実現



- プロパティを使用するオーバーヘッドはどれくらいあるのか？

Label->Captionの実行時間



※測定環境: Core2Quad9550+Mem4G+WindowsXP SP2のマシン上で
Delphi for PHP IDEからデバッグモードで実行した場合の
相対値です。

- ページ上に表示されるオブジェクトを動的に生成して、永続化することができます。

```
//Labelを動的に生成する
function Button1Click($sender, $params)
{
    $LabelCount = 0;
    foreach($this->controls->items as $key => $obj)
    {
        if ($obj->ClassName() == 'Label')
        {
            $lastLabel = $obj;
            $LabelCount++;
        }
    }
    $newLabel = new Label($this);
    $newLabel->Name = 'Label'.($LabelCount+1);
    $newLabel->Top = $lastLabel->Top + 16;
    $newLabel->Left = $lastLabel->Left;
    $newLabel->Caption = 'Label'.($LabelCount+1);
    $newLabel->Parent = $this;
}
```

又は、以下のようにする。

```
$newLabel = new Label();
$this->insertComponent($newLabel);
```

ユニークな名前を必ず付けること。シリアライズで利用されるため、忘れると正常に動作しない。ていうか、表示されません。

これを忘れると、controls配列に追加されないため、表示されない。

Component指向でGo!

Componentを作成する

- メインメニューの「コンポーネント」→「新規コンポーネント」からダイアログを表示させる。

コンポーネントの新規作成

コンポーネント作成
継承元のクラス、クラス名、コンポーネントを表示するツールパレットのカテゴリを選択してください

継承元のクラス:
クラス名:
パレットページ名:
 パッケージの作成

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

継承元のクラスを指定する

作成するクラス名を指定する

コンポーネントを登録するパレットを指定する

チェックしておくと一緒にパッケージファイルも出来る

後で変更出来るので深く考えないで作成する。

- 左がコンポーネント、右がパッケージのスケルトン。

```
<?php
require_once("vcl/vcl.inc.php");
//Includes

//Class definition
class SampleCompo extends Component
{
    function __construct($aowner = null)
    {
        parent::__construct($aowner);
    }

    function dumpContents()
    {
        parent::dumpContents();
    }
}
?>
```

```
<?php
require_once("vcl/vcl.inc.php");
use_unit("designide.inc.php");

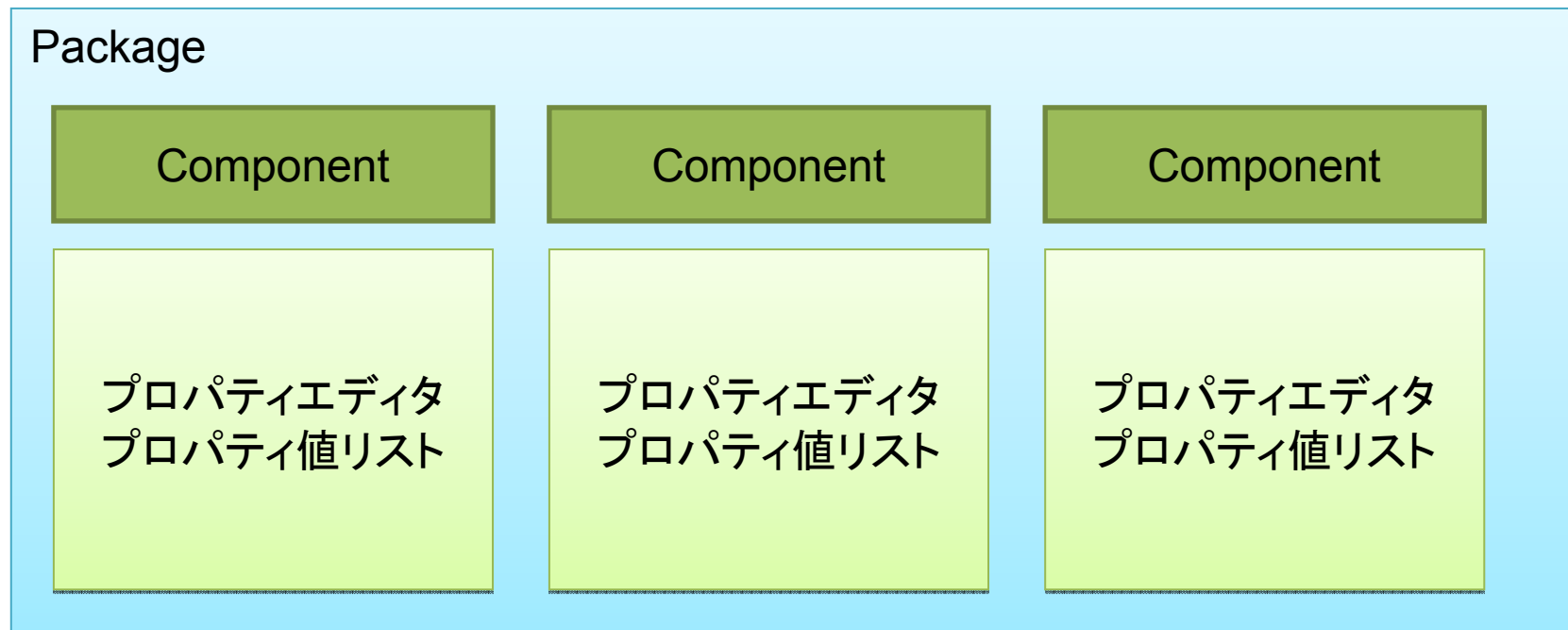
    setPackageTitle("Put the title of your package
here");
    //Change this setting to the path where the icons
for the components reside
    setIconPath("./icons");

    //Change yourunit.inc.php to the php file which
contains the component code

registerComponents("Samples",array("SampleCo
mpo"),"unit1.inc.php");
?>
```

ここに自分でuse_unitする
こと。

- Delphi for PHPのコンポーネントはパッケージに含まれ、パッケージ内でプロパティエディタや値リストなどの設定を行います。



- パッケージファイルでやるべき事。

コンポーネントのアイコンは、ここで指定したディレクトリにある、同名のbmpが使用される

```
<?php  
require_once("vcl/vcl.inc.php");  
use_unit("designide.inc.php");
```

パッケージのタイトルを設定する

```
setPackageTitle("Anaheim Technology Components");  
//Change this setting to the path where the icons for the components reside  
setIconPath("./icons");
```

コンポーネントを登録する

```
//Change yourunit.inc.php to the php file which contains the component code  
registerComponents("Anaheim-Tech",array("PHPEXcelSimpleReport"),"phpexcel.inc.php");
```

```
registerPropertyValues("PHPEXcelSimpleReport","Orientation",array('Default','Portrait','Landscape'));  
registerPropertyValues("PHPEXcelSimpleReport","PaperSize",array('A4','A3'));  
registerPropertyValues("PHPEXcelSimpleReport","DataSet",array('DataSet'));  
registerPropertyEditor("PHPEXcelSimpleReport","TitleRowColor","TSamplePropertyEditor","native");
```

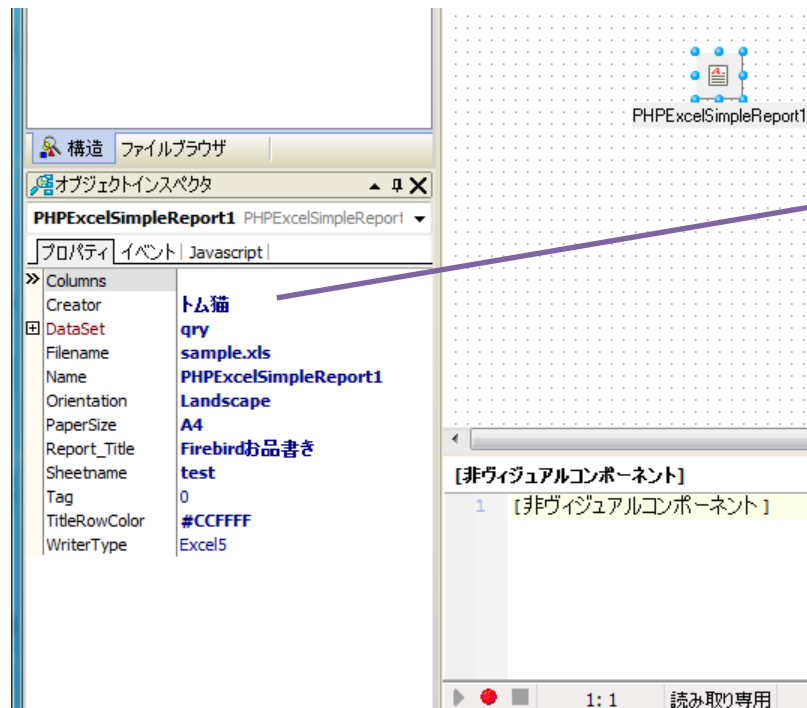
?>

プロパティエディタを設定する

プロパティで利用出来る値を設定する

- プロパティエディタは以下のものが用意されている、Delphiで自作することも可能。
 - <標準プロパティエディタ>
 - TStringListPropertyEditor SQL等の複数行の文字列プロパティ用
 - TItemsPropertyEditor メニューやツールバーで使用されているItemsプロパティ用
 - TGridColumnsPropertyEditor DBGridのColumnsプロパティ用
 - TFormValidatorRulesPropertyEditor FormValidatorのRulesプロパティ用
 - TImagePropertyEditor Imageプロパティ用
 - TImageListPropertyEditor ImageListプロパティ用
 - THTMLPropertyEditor Caption等のHTMLで設定するプロパティ用
 - TValueListPropertyEditor 値リストのプロパティ用
 - TFilenamePropertyEditor ファイル名の指定用(相対位置)
 - TAbsolutePathPropertyEditor ファイル名の指定用(絶対位置)
 - TSamplePropertyEditor 名前はサンプルですが、色の設定用

- コンポーネントのPublishedプロパティはシリアライズされると同時に、オブジェクトインスペクタに表示される。



SetメソッドのあるPublishedプロパティはここに表示される

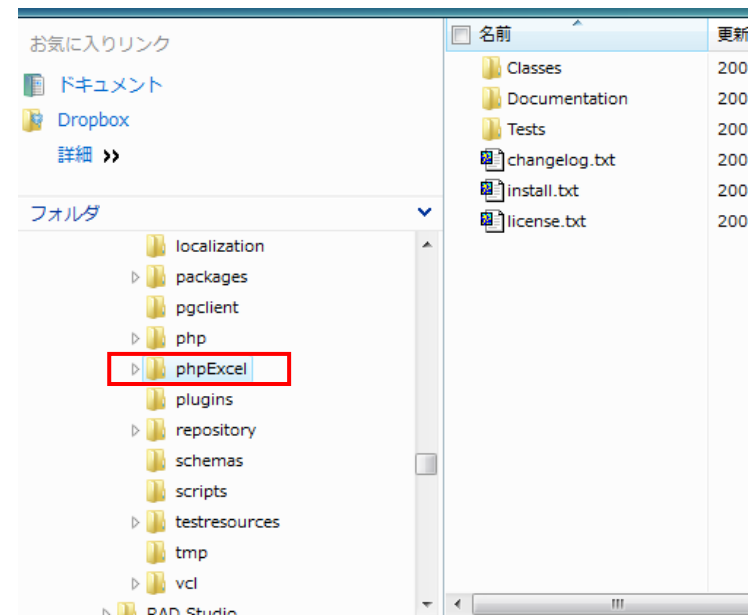
```
protected $_creator = "";  
//Creator  
public function setCreator($pValue)  
{  
    $this->_creator = $pValue;  
}  
public function getCreator()  
{  
    return $this->_creator;  
}  
public function defaultCreator()  
{  
    return null;  
}
```

- PHPExcelはExcel2007/Excel2000形式等のファイルを読み書き出来る大変便利なクラスライブラリ。
 - 出力に対応しているファイル形式
 - Excel 2007 (spreadsheetML)
 - BIFF8 (Excel 97 and higher)
 - PHPExcel Serialized Spreadsheet
 - CSV (Comma Separated Values)
 - HTML
 - PDF
 - 読み取りに対応しているファイル形式
 - Excel 2007 (spreadsheetML)
 - BIFF5 (Excel 5.0 / Excel 95), BIFF8 (Excel 97 and higher)
 - PHPExcel Serialized Spreadsheet
 - Excel 2003 XML format
 - Symbolic Link (SYLK)
 - CSV (Comma Separated Values)

- PHPExcelのインストールは、ソースコードのzipアーカイブをダウンロードして、PHPのインクルードパスに展開するだけです。Delphi for PHPのIDEからアプリケーションを起動する場合は、以下の位置に配置する。

<Delphi for PHP2.0インストールパス>%apache2

```
...
¥php
¥phpExcel
    ¥Classes
    ¥Documentation
    ¥Tests
...
¥vcl
```

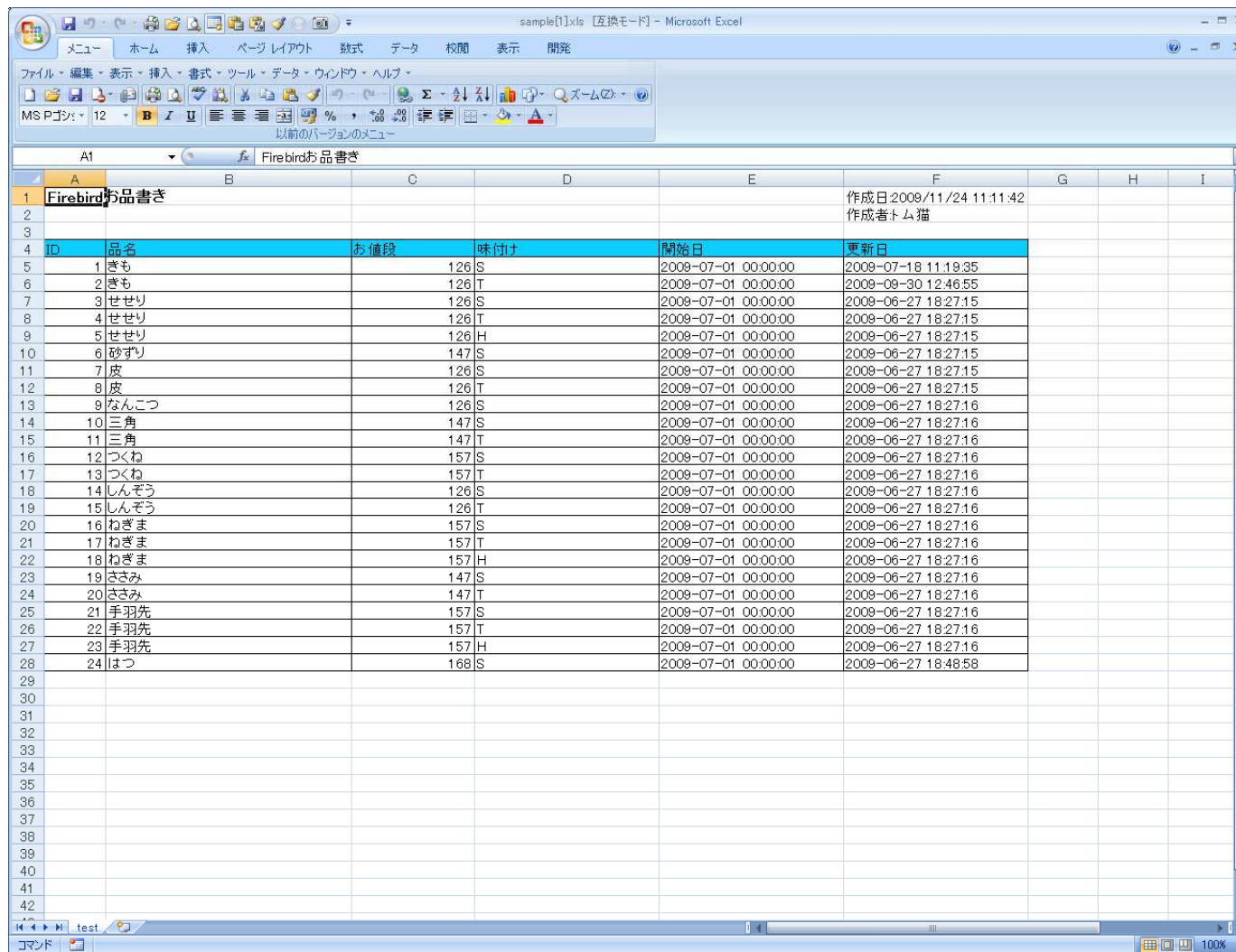


- PHPExcelコンポーネントには以下のプロパティを追加した。
 - Columns 配列型: レポートの各列の情報
 - Creator 文字列型: 作成者
 - DataSet データセット型: 元になるデータセット
 - Filename 文字列型: 生成されるファイル名
 - Orientation 文字列型: 用紙のタテ・ヨコの指定
 - PaperSize 文字列型: A4とA3だけ限定で用紙サイズを選択
 - Report_Title 文字列型: レポートのタイトル
 - Sheetname 文字列型: シート名
 - TitleRowColor 文字列型: カラー指定
 - WriterType 文字列型: Excel5とExcel2007から選択

- データセットやデータソース等のオブジェクト型のプロパティには注意が必要。
- setメソッドでは Componentクラスの `fixupProperty` メソッドを利用します。

```
//DataSet
protected $_dataset = null;
public function setDataSet($pValue)
{
    $this->_dataset = $this->fixupProperty($pValue);
}
public function getDataSet()
{
    return $this->_dataset;
}
public function defaultDataSet()
{
    return null;
}
```

実行時の様子



The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "sample[1].xls [互換モード] - Microsoft Excel". The spreadsheet contains a table with the following data:

ID	品名	お値段	味付け	開始日	更新日
1	ぎも	126	S	2009-07-01 00:00:00	2009-07-18 11:19:35
2	ぎも	126	T	2009-07-01 00:00:00	2009-09-30 12:46:55
3	せせり	126	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
4	せせり	126	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
5	せせり	126	H	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
6	砂ずり	147	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
7	皮	126	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
8	皮	126	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:15
9	なんこつ	126	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
10	三角	147	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
11	三角	147	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
12	つくね	157	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
13	つくね	157	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
14	しんぞう	126	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
15	しんぞう	126	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
16	ねぎま	157	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
17	ねぎま	157	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
18	ねぎま	157	H	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
19	ささみ	147	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
20	ささみ	147	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
21	手羽先	157	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
22	手羽先	157	T	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
23	手羽先	157	H	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:27:16
24	はつ	168	S	2009-07-01 00:00:00	2009-06-27 18:48:58

- 今日の懇親会の景品です！





- アナハイムテクノロジー株式会社
 - 〒157-0072 世田谷区祖師谷1-22-26-S-208
 - TEL 03-5787-7791 FAX 03-5787-7792
 - <http://www.anaheim-tech.com/>
- Delphiとオープンソースの技術支援を行っています
- Firebird/InterBaseのご相談もぜひ当社へ！
- Delphi for PHPの導入のご相談受付中です